

子は
親の背を見て
育つ

有言実行と信頼のこと

記事内容はわたし個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

ご意見などの宛先 horikawassw@gmail.com



《親の背を見て育つ》これは親の生活姿勢は、知らぬ間に子どもに引き継がれることを言います。

悪く言うと、子どもと先生の関係が悪い形で固定化されて、それは良い結果を生まないからです。

☆ 1

一学期を終え、新しい学期が始まります。活動的な子、おとなしい子それぞれに学校行事が多いこの学期に、期待と不安を感じながら家庭で待機するこの時期です。

ところで、夏休み期間中の親子関係に、何か変化がありませんでしたか？親子関係は**知らぬ間に**できるもの。そして変わって行くものです。

たとえば《きょうだいゲンカ》の裁定はうまくいったでしょうか。静かにさせるため**抑えつける**か、人間関係上必要とみて行き過ぎないように**調停する**か、あるいはどちらかに**軍配を上げて**終わらせるか、それによってあなたとの関係性は変わるものです。

★ 2

先生と子どもの関係も、一学期でほぼ確立しています。でも**これから先**の先生の対応次第でその関係性も変化します。

ですからあなたも、子どもが先生を悪く《評定》しているのを耳にしても同意しないで、先生の言動を善意で解釈して話してあげて欲しいのです。あなたまでも先生を

☆ 3

以前、子どもの行動を止めるときに「やめないと〇〇するぞ！」とおどさないで、と言いました。おどすだけで実行しない、それは子どもに禁じている「**だます**」ことになり、あなたへの信頼が薄れるからです。

大事なのは有言実行、おどすのはよくありませんが…必ず言葉どおりに実行することです。

目から火が出る勢いでしからねばならないのは「**モノも関係も壊さない/心も体も、相手も自分も傷つけない/自分の都合でだますない**」に反した時です。

その時はあなたと子どもが一對一で対決しなければなりません。この時が**あなたの正義**が子どもに**受け継がれる**時です。

★ 4

その時は嫌われても大丈夫です。日ごろのあなたの生きざまによってつくられた、あなたとの信頼関係によって、必ずあなたの正義の思いが伝わります。

